

環境活動レポート

-平成 27 年度(H27.8~H28.7)版-



平成 28 年 8 月 25 日

金子商事株式会社

《環境方針》

私たちは、地球温暖化をもうこれ以上放ってはおけないという気持ち、何かをしなければならぬという気持ちから、エコアクション 21 を始めました。また、当社の本業である廃棄物等の収集運搬では、「お客様第一たれ」をモットーに業務を遂行してまいります。さらに、当社 の関係する環境関連の法律、規制、条例等の遵守はもとより、以下の 環境目標に取組み、継続的改善に努めてまいります。

- (1) 排出事業者とのコミュニケーションを密にし、分別の提案により リサイクル量の拡大を図ります。
- (2) アイドリングストップ、エコドライブにより収集運搬車両の 燃費向上を図ります。
- (3) 省エネ、グリーン購入、カーボンオフセット等により、二酸化炭素 排出量を削減します。
- (4) 節水により、上水使用量を削減します。
- (5) KYT、ヒヤリ・ハット報告により、緊急事態の予防を図ります。

当社の環境活動内容を環境活動レポートで公開します。
また、当社の環境方針は社内に掲示し全ての従業員に周知します。

H19年4月1日制定
H24年8月21日改訂

金子商事株式会社
代表取締役



2. 組織の概要

(1)法人設立年月日 平成 11 年 8 月 5 日

(2)資本金 1000 万円

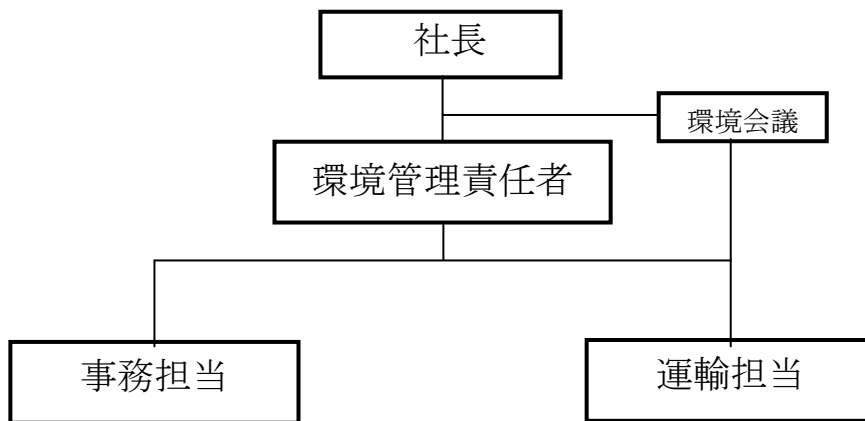
(3)売上高

平成 25 年度：90 百万円

平成 26 年度：101 百万円

平成 27 年度：104 百万円

(4)組織図



(5)事業所名及び代表者名

事業所名：金子商事株式会社

代表者名：金子房雄

(6)所在地

埼玉県久喜市菖蒲町上大崎 424-1

(7)環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者氏名：金子昭雄

担当者連絡先：埼玉県久喜市菖蒲町上大崎 424-1

(電話)0480-87-1107

(FAX)0480-87-1108

(8)事業活動の内容

(a)一般廃棄物の収集運搬

①久喜市許可 一般廃棄物収集運搬業許可 久宮衛指令第 45 号

・許可期間 H28.4.1～H30.3.31 ・取扱廃棄物の種類 一般廃棄物(ごみ)

②上尾市許可 一般廃棄物収集運搬業許可 上西環許可第 28-ご 8 号

・許可期間 H28.4.1～H30.3.31 ・取扱廃棄物の種類 一般廃棄物(し尿を除く)

③桶川市許可 一般廃棄物処理業許可 桶指指令第 1-6 号

・許可期間 H27.4.1～H29.3.31 ・取扱廃棄物の種類 一般廃棄物(特定家庭用機器)

(b)産業廃棄物の収集運搬の許可の内容

廃棄物の種類	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類 (注1)	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	ゴムくず	金属くず (注2)	ガラス・コンクリートくず・陶磁器くず (注3)	鉱さい	がれき類	ばいじん	許可番号	許可年月日	許可の有効年月
埼玉県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	01101066282	H22.3.3	H29.1.12
																	01151066282	H28.7.27	H35.7.26
																	第 13-00-066282	H22.11.10	H29.11.9
(特管) 埼玉県			○ 注4																
東京都			○ 注5	○ 注6	○	○	○	○	○			○	○		○		01200066282	H25.6.25	H30.6.24
																	00900066282	H24.7.8	H29.7.7
																	01000066282	H23.1.19	H30.1.18
千葉県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		00801066282	H22.8.31	H29.8.30
																	01402066282	H28.2.26	H35.1.20
栃木県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		00801066282	H22.8.31	H29.8.30
																	01402066282	H28.2.26	H35.1.20
群馬県		○	○	○	○	○	○	○		○ 注7		○	○		○		00801066282	H22.8.31	H29.8.30
																	01402066282	H28.2.26	H35.1.20
茨城県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		00801066282	H22.8.31	H29.8.30
																	01402066282	H28.2.26	H35.1.20
神奈川県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		00801066282	H22.8.31	H29.8.30
																	01402066282	H28.2.26	H35.1.20

(注1) 自動車等破砕物を除く(但し、栃木県を除く)

(注 2) 自動車等廃棄物を除く(但し、栃木県は除く)

(注 3) がれき類及び自動車等破砕物を除く(但し、栃木県は除く)

(注 4)揮発油類、灯油類及び軽油類に限る

(注 5) 滴下焼却できるものに限る

(注 6)塩化第二鉄を除く

(注 7)工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く

(c)施設等の状況

①運搬車両

- ・ 4トンアームロール車 3台
- ・ 4トン平ボディ 2台
- ・ 4トンパッカー車 1台
- ・ 1.5トン平ボディ 1台

(d)処理実績

収集運搬量

単位 トン

収集運搬量	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
一般廃棄物	74	63	77
産業廃棄物	2,146	2,466	2,399
廃プラ	283	362	283
金属	423	561	376
木くず	248	297	376
がれき	431	328	456
汚泥	356	371	333
もえがら	21	18	22
廃油	26	41	43
ガラス陶磁器	128	224	204
紙くず	230	264	306
リサイクル品(合計)	1,714	1,979	1,975
*最終処分(合計)	432	487	424

*廃プラと汚泥とガラス陶磁器の一部を処分

(e)廃棄物処理料金

個別見積による(見積料は無料)。

(f)事業の規模

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
従業員(人)	7	8	8
敷地面積(m ²)	843	843	843

3. 環境への負荷の状況

		単位	H25年度	H26年度	H27年度
総エネルギー 投入量	購入電力	MJ	78,974	74,452	72,918
	軽油	MJ	557,032	718,965	690,650
	ガソリン	MJ	121,273	131,543	101,784
	灯油	MJ	11,377	14,169	9,322
水資源投入量	上水	m ³	128	116	99
二酸化炭素排出量	二酸化炭素	Kg-CO ₂	50,898	59,539	58,344
産業廃棄物排出量	廃油(再生)	t	0.15	0.15	0.15

※二酸化炭素排出係数は、東京電力 0.000463t-CO₂/kwh

4. 環境目標とその実績

環境目標 3年計画	H27年度計画	H27年度結果	評価
収集運搬のリサイクル量を H25年度実績(1,714トン)に対し、H29年度までに6%拡大(1,817ト)する。	収集運搬のリサイクル量を H25年度実績(1,714トン)に対し、2%拡大(1,748ト)する。	目標値 1,748 トンに対し 1,975 トンのリサイクル量となり、目標達成。	○
収集運搬車の燃費を H24年度実績(5.351km/l)に対し、H29年度までに5%向上(5.619km/l)させる。4トン車3台	収集運搬車の燃費を H24年度実績(5.351km/l)に対し、H27年度までに3%向上(5.512km/l)させる。4トン車3台	目標値 5.512km/lに対し 5.658km/lで、目標達成。	○
二酸化炭素排出量は、削減に取り組みながら数値を把握する。カーボンオフセットに取り組む。H23年度実績(現状を0品目とする)に対し、H29年度までにプラス6品目を購入する。	カーボンオフセットに取り組む。グリーン購入は、H23年度実績(現状を0品目とする)に対し、H27年度までにプラス4品目を購入する。	目標のグリーン購入プラス4品目に対し4品目購入した。	○
上水の使用量を H26年度実績(116 m ³)に対し、H29年度までに3%削減(113 m ³)させる。	上水の使用量を H26年度実績(116 m ³)に対し、H27年度までに1%削減(115 m ³)させる。	目標値 115 m ³ に対し 99で目標達成。	○
KYT、ヒヤリ・ハット報告により緊急事態の予防を図る。	KYT年12回、ヒヤリ・ハット報告月1回、実施により緊急事態の予防を図る。	良く出来た。	○

【社長の評価】

(1)リサイクル量の拡大は、売り上げの増加に伴い、増加している。また、分別の提案や、新規処分場の開拓により、大きく伸びている。営業力を強化し更なる拡大を目指したい。

- (2)収集運搬車両の燃費向上については、最初の3ヶ月未達成が続いたため、是正処置を行ったところ、少しずつ燃費向上につながった。引き続き、さらに務めていきたい。
- (3)二酸化炭素排出量削減は、グリーン購入やカーボンオフセットに取り組み、目標を達成することができた。またエコキャップ提供でも、削減につながった。
- (4)上水使用量削減は、従業員の協力で洗濯回数・量が減ったため、削減できた。
- (5)緊急事態の予防については、意識改革が進んだように思われる。ヒヤリハットが起きたら近日常に安全会議を開き、原因対策を話し合う事ができた。更なる徹底で、事故0を目指したい。

5. 環境活動計画の内容と取組結果の評価

環境活動計画	取組結果	評価
コピー用紙、印刷物、パンフレット、トレットペーパー、名刺、その他用紙の再生紙への転換	コピー用紙、封筒、トレットペーパーで再生紙を使用中	5
空調の適温化	冷房 28 度、暖房 20 度で実施中	5
空調の保守点検	フィルター掃除を実施した。	5
照明の適正化、昼光の利用、スイッチの適正管理	徹底されている。	5
裏紙使用、両面コピーの徹底	徹底されている。	5
詰め替え可能な製品の利用や備品の修理等により、製品等の長期使用推進	トナー、洗剤で使用	4
紙、金属缶、ガラス瓶、プラスチック等の分別回収ボックスの適正配置による分別の徹底	徹底されている。	5
作業時間、待機時間、走行距離の短縮	待機時間が発生しない引き取り時間の設定を徹底している。走行距離は最短距離で運行ルートを設定しており、走行距離の最短化を実現している。	5
収集・運搬取扱量の平準化	受注の平準化を実施している。	5
アイドリングストップやエコドライブの実施	実施し、少しずつ効果に出てきている。	3
排気ガス、騒音・振動等を抑えるための適正な車両整備	日常点検、グリースアップ、を実施。	3
洗濯水の節水	従業員の協力により洗濯回数の削減。	5
リサイクル量拡大の為の、取引先に対する提案等	徹底されている。新規開拓もできている。	4

(評価点) 5点：90%以上 4点：70%以上 3点：50%以上 2点：30%以上 1点：30%未満
(スケジュールに対する進捗度等の対計画比で評価する)

【社長の評価】

全体的によい。社内外で環境活動に取り組むなか、社員ひとりひとりの意識も高まりやりがいが生まれ、誇りをもって仕事に取り組めるようになってきていると思う。

6. 代表者による見直し

8月25日に、社長により全体の評価と見直しを行った。新たな3年計画がスタートし、進捗状況をふまえ、下記の次年度目標を確認した。

- (1)リサイクル量拡大は、H26年度実績を基準として、4%（3年計画で6%）拡大とする。
- (2)燃費向上は、H24年度実績を基準として、4%（3年計画で5%）向上とする。
- (3)二酸化炭素排出量削減は、カーボンオフセット、グリーン購入に取り組むこととする。グリーン購入は、H23年度現状を0品目として、プラス6品目の購入とする。
- (4)上水使用量削減は、H26年度実績を基準として、2%（3年計画で3%）削減とする。
- (5)年12回のKYT、毎月1件以上のヒヤリ・ハット報告による緊急事態の予防を図る。

7. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

平成28年8月に環境関係法令等の遵守状況を確認した結果、環境関係法令等への違反はない。なお、過去3年間関係当局からの違反等の指摘はなく、また訴訟等もない。



エコキャップ搬入
取引先の協力もあり、
ポリオワクチン10人分
になりました。